

## 【研究区分：先端的研究】

研究テーマ：次世代の地域社会を担う言語教師養成のためのコンピテンシー・ベンチマーク開発	
研究代表者：地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース 准教授 草薙邦広	連絡先：kusanagi@pu-hiroshima.ac.jp
共同研究者：地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース 教授 小川俊輔 教授 向居暁 大学教育実践センター 准教授 中石ゆうこ	
<b>【研究概要】</b> 本研究は、本学における英語および国語の教職課程，そして日本語教員養成課程の機能強化を念頭に置き，次世代の地域社会を担う言語教師が備えるべき中核的な資質・能力（コンピテンシー）を測定するベンチマークの開発に取り組んだ。当該のベンチマークは，(a) 言語と言語文化に関する知識・技能，(b) 教育技術と漸進的な業務改善能力，(c) 複言語主義を中心とする言語・文化理解，そして (d) 教師たる人間性という 4 観点から構成される。また，当研究プロジェクト期間中には，本学の教職課程において，採用者の飛躍的増加が観察された。	

## 【研究目的と背景】

本研究の目的は，生活様式の根本的変化とも呼ばれる現代社会の著しい変容に対応すべく，次世代の地域社会を担う言語教師が備えるべき中核的な資質・能力（コンピテンシー）を測定するベンチマークの開発に取り組むことであった。

本学は従来から，英語教育，国語教育，日本語教育の各課程を備え，これら言語・科目を超えた教員の組織的連携に務めてきた。さらに，本学の地域創生学部，そして地域文化コースは，主にウェルビーイングと地域連携の観点を踏まえつつ，現代社会がもつ高度情報化，少子高齢化，地方の過疎化，そして外国人労働者の受け入れなどといった問題に対応できる人材の育成をポリシーに据えている。

一方，現在の高等教育機関および教育研究全体において，次世代の地域社会に対応する人材像やその養成に必須となるベンチマークの開発研究はほとんど着手されていない状態である。そこで本研究は，県立広島大学型の言語教師ベンチマークを開発し，国内外に広く発信・提案することによって，将来的な地域創生人材育成のモデル事例とすることを目標とした。

## 【研究成果の概要】

本研究では，最初に次世代の地域社会を担う言語教師が備えるべき中核的な資質・能力を，国語および英語といった教科，または教育の対象となる言語に限定せず，このような領域の枠に囚われないコンピテンシーのあり方に関する概念整理を行った。この際，本学関連教員を含め，最新の学術的知見と地域社会のニーズを反映するため，以下の専門家からの聴取を実施した（次ページ表1）。

専門家への聴取と，本学教職課程関連教員への継続的な検討の結果として，(a) 言語と言語文化に関する知識・技能，(b) 教育技術と漸進的な業務改善能力，(c) 複言語主義を中心とする言語・文化理解，そして (d) 教師たる人間性の 4 点を策定した。この 4 点の概念図は以下の通りである（次ページ図1）。

その後，このような4側面から形成されるコンピテンシーを測定するベンチマークとして，それぞれの概念が反映される記述式・選択式のテストおよび心理尺度を開発し，令和5年度以降の本学教職志望学生への教育実践や模擬授業，教職関連授業に関する教職課程履修者のナラティブの紐づけを実施した。今後，このベンチマークを公開し，中長期的な視点に立って社会の評価を得る予定である。

表 1.

本プロジェクトにて最新の専門的知見の提供を頂いた専門家リスト

所属（当時）	役職	氏名	分野
広島大学	講師	高橋有加	教育データ分析
広島県立安芸府中高等学校	指導教諭	久山慎也	教師教育
県立広島大学	准教授	目黒将史	古典文学
富山大学	講師	小澤郁美	認知カウンセリング
広島大学	准教授	山内優佳	学習不安
島根県立大学	准教授	小林明子	日本語教育・第二言語習得
広島市立祇園東中学校	教諭	廣田拓也	国語教育
北広島町立芸北中学校	教諭	中川大輝	英語教育
広島平和文化センター	日本語教育コーディネータ	橋本優香	日本語教育・広島市の言語環境
県立広島大学	講師	福田涼	近代日本文学・平和教育
広島大学	准教授	小口悠紀子	言語教授法
三次市地域振興部	主事	中川未祐	県内山間部の言語環境

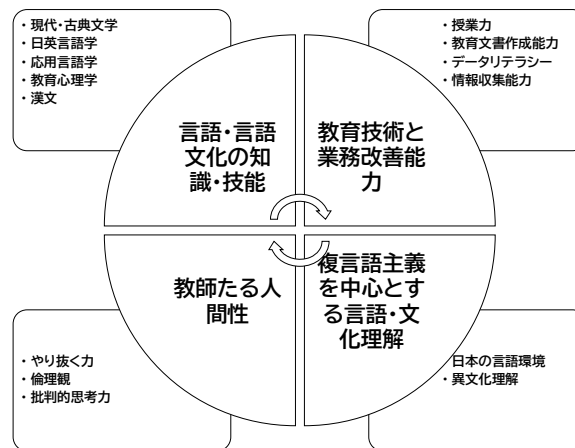


図 1. 本プロジェクトが策定したベンチマークの概念図

【本学における教職課程へのインパクト】

現状において、本プロジェクト採択後の教職課程における採用者は飛躍的に増大した（図 2）。今後、追跡調査を実施し、本ベンチマークの効果検証を継続する予定である。

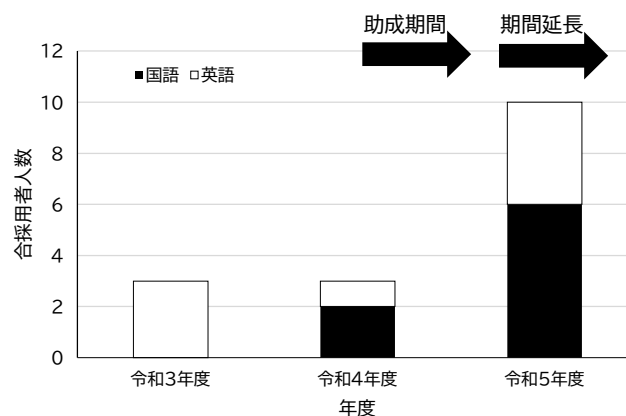


図 2. 3 年間における本学国語・英語教職課程における採用者の推移